

令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・習得型の授業を行い、説明したり活用したりする場面を設定したことが、知識・技能の定着につながった。
- ・観察、実験の方法を考えさせてから観察、実験を行い、観察や記録、実験データを表に整理したり、グラフに処理したりして、科学的な言葉を用いて考えさせたことで、思考が深まった。

(2) 課題

- ・他の項目に比べて知識・技能の項目が、目標値の上回りが小さい。
- ・中学年の学習内容の問題の正答率が他と比べてやや低い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	≡		
第5学年	≡	≡ (第4学年時)	
第6学年	△	△ (第5学年時)	△ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較するとわずかに上回っている。	・目標値と比較するとわずかに上回っている。	・目標値と比較するとわずかに上回っている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると上回っている。	・目標値と比較すると大きく上回っている。	・目標値と比較すると上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の定着を図るために、習得型の授業を行い、説明したり活用したりする場面を設定する。 ・習得させたい知識・技能に応じて、実感を伴った理解を目指し映像資料と実物とを効果的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を基に、予想や仮説を立ててから観察、実験を行い、観察記録や実験データを表に整理したり、グラフに表したりして、科学的な言葉を用いて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組めるように、授業の流れをパターン化する。 ・既習の内容や予習で得た情報について、実際に実験や観察を行い確かめようとする態度を育てる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・習得させたい知識・技能に応じて、映像資料と実物とを効果的に活用する。・学習内容について説明したり活用したりする場面を授業内で設定する。	<ul style="list-style-type: none">・観察、実験の方法を考えさせてから観察、実験を行い、観察や記録、実験データを表に整理したり、グラフに処理したりして、科学的な言葉を用いて考えさせる。・観察、実験の結果を説明する場面を設定したり、予想と結果の妥当性を考えさせたりする。	<ul style="list-style-type: none">・既習の内容や予習で得た情報について、実際に実験や観察を行い確かめようとする態度を育てる。・既習の内容を基に、探究的な活動や協働的な活動を設定し 主体的に取り組む態度を育てる。